

体育学部

アドミッション・ポリシー

1. 【体育学を学ぶための基礎的な力を身に付けている学生】
文系・理系に偏ることのない基礎学力とともに、自分の得意分野の実践能力をも身に付けている学生
2. 【自己表現ができる学生】
自分が身に付けた学力や実技で得た経験値を総合的に活用・応用し、スポーツ・武道および体育・健康づくりに関する新たな課題やその解決策を考察し、他者に伝えることができる学生
3. 【新たな課題に挑む意欲のある学生】
礼節とスポーツマンシップを身に付けた、新たな課題に進んで挑戦しようとする、感性豊かで協調性のある学生

カリキュラム・ポリシー

スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける実践的かつ創造的で、市民性、国際性を備えたリーダーを養成するために、課程や学生の志向性に沿って、学年進行で1.専門性の深化と充実、2.社会人としての豊かな教養の涵養、3.将来を展望し、勤労観・職業観を醸成できるための教育課程を編成しています。

ディプロマ・ポリシー

スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける実践的かつ創造的で市民性、国際性を備えたリーダーを養成するための知識・能力を身に付け、かつ所定の単位を修得した学生に学位を認定します。

教育課程の編成

授業科目は原則として学期完結型の科目（学期毎に単位が取れる科目）として設定しています。ただし、一部の科目について、通年科目（1年間履修して単位がとれる科目）となっています。

	1年	2年	3年	4年	
一般科目	コミュニケーション科目				
	社会・文化・自然科目				
	総合科目				
キャリア形成科目	キャリアデザイン科目				
専門科目	基礎科目A（人文・社会・自然系）				
		基礎科目B（指導・普及系）			
		応用科目			
		実験演習科目			
	関連実技科目				
		ゼミナール（卒業研究）			
専攻科目	専修科目				
		指導実践科目			
教職科目	教職				
		専門			

- コミュニケーション科目：国内はもとより国際社会で活躍できる語学力とコミュニケーション能力を涵養する科目
- 社会・文化・自然科目：社会の一員として、人間、社会、文化自然及び環境に関する教養や態度を涵養する科目
- 総合科目：社会の一員として、基礎的な情報リテラシー、表現的能力や討論力を身につける科目
- キャリアデザイン科目：スポーツリーダーとしての将来像と勤労観・職業観を醸成する科目
- 基礎科目A（人文・社会・自然系）：体育学の基礎となる人文・社会及び自然系の分野の内容を理解する科目
- 基礎科目B（指導・普及系）：スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する指導や普及の基礎的な内容を理解する科目
- 応用科目：国民各層のスポーツ・武道及び体育・健康づくりを指導し、普及させるための専門的、応用的な内容を身につける科目
- 実験演習科目：スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する基礎的な科学的支援力や表現的能力を身につける科目
- 関連実技科目：スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する基礎的な実技力を身につける科目
- ゼミナール（卒業研究）：スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する関心のあるテーマについて、体育学の知識を総合的に活用し、課題設定、解決、説明する能力を身につける科目
- 専修科目（アスリート・コーチング系／生涯スポーツ系／武道系）：スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関して、年齢、目的等に応じた体系的な実技指導力や事業運営力を身につける科目
- 指導実践科目（アスリート・コーチング系／生涯スポーツ系／武道系）：専修科目等で身につけた体系的な実技指導力や事業運営力を実地的・実践的に活用し、深める科目
- 教職：中学校や高等学校の教員としての免許を取得するための教職に関する科目
- 専門：中学校や高等学校の保健体育の教員としての免許を取得するための専門（教科）に関する科目

また、授業科目は下表のように、履修（選択）の仕方により「必修科目」、「選択科目」、「自由科目」に分類されます。

区 分	科目区分の特徴（ねらい）
必修科目	単一の授業科目で、その修得が義務づけられている科目
選択科目	複数の授業科目のうちから指定する科目数又は単位数の修得が義務づけられている科目
自由科目	必修科目及び選択科目を除き、その修得を卒業認定の要件とされている科目

授業時間

1：学期と授業時間割

学年を前期（4月1日～9月30日）と後期（10月1日～3月31日）に区分し、原則として学期ごとに授業科目の設定を行います。なお、授業は、原則として各学期とも15週（試験を課す場合は16週）にわたって行います。

授業は、下表のとおり行います。集中講義や学外授業などを行うことがあります。

- 前期：4月1日～9月30日
- 後期：10月1日～3月31日

	開始	終了
第1時限（90分）	8：30	10：00
第2時限（90分）	10：10	11：40
第3時限（90分）	12：40	14：10
第4時限（90分）	14：20	15：50
第5時限（90分）	16：00	17：30

2：休業日

休業日（授業を行わない日）は次のとおりですが、休業日においても特別な場合には授業を行うことがあります。

- ① 週休日（土曜日・日曜日）及び国民の休日に関する法律に定める休日
- ② 開学記念日（10月1日）
- ③ 夏期休業日（8月1日～9月30日）
冬期休業日（12月26日～1月7日）
春期休業日（3月11日～3月31日）
- ④ その他大学が定めた日
注：休業日においても、特別な場合には講義を行うことがあります（集中講義等）。

3：授業の方法

講義、演習、実験、実習もしくは実技又はこれらの組み合わせにより実施します。また、授業は対面形式の他、遠隔形式で実施しているものもあります。※情報活用能力の育成等のため、ノートPC、タブレット等の情報機器を必携としております。



スポーツ総合課程

スポーツ 総合課程の 目標

専攻系の 紹介

スポーツ総合課程は、体育・健康づくりに関する科学的な基礎知識や応用能力を有し、競技スポーツ、生涯スポーツ、健康づくりに関する専門的能力を、理論と実践の往還を通じて修得することにより、バイタリティーを持ち、国際社会の進展に対応できる実践的かつ創造的で、市民性を備えたリーダーの育成を目標とします。

アスリート・コーチング系

トップレベルの競技力の向上、ジュニア期からトップレベルまでのコーチングを行うことのできる人材を養成するコース。

生涯スポーツ系

健康づくりのコーディネートやスポーツクラブ等の管理運営、プログラム開発を行うことのできる人材を養成するコース。

スポーツ総合課程 3年

在学生からのメッセージ

福原 葵

FUKUHARA Aoi

Q1：なぜ鹿屋体育大学に？

鹿屋体育大学は全国唯一の国立体育大学であり、教員免許を取得することができるということ、スポーツをする環境が整っており、バスケットボールに集中することができるという主にこの2つの点から入学を決めました。また、昔から知っていた先輩が在学していたこともきっかけの1つです。

Q2：今頑張っていること、目標は？

課外活動と勉強です。課外活動では、全国の舞台でチームを勝利に導けるように日々練習に励んでいます。勉強では、単位取得はもちろん、教員免許を取得することを目標に毎日の講義に取り組んでいます。

Q3：好きな授業はなんですか？

関連実技の授業です。いろいろな種目のスポーツを体験することができ、中には苦手なスポーツもありますが、他部活の学生がアドバイスをくれたり、一緒に苦手を克服したりしてくれるので、たくさんの学生との交流が増え、友好関係を築くことができます。

Q4：鹿屋体育大を目指す人に一言！

鹿屋体育大学は、さまざまな地方からスポーツトップレベル学生が集まるので、何かに全力で取り組む姿勢を間近で学べたり、自身にとって刺激となる話を聞いたりできます。鹿屋体育大学を目指している皆さん、ぜひ一緒に目標に向かって頑張っていきましょう！

私の時間割＜1年後期＞

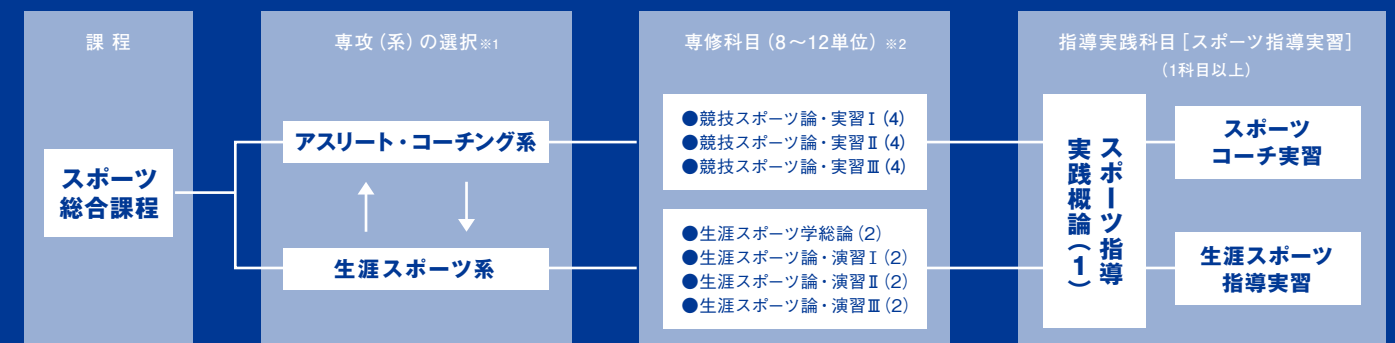
	月	火	水	木	金
1限	総合英語Ⅱ		体育学概論	体育・スポーツ史	
2限			解剖生理学	学校と教育の歴史	情報処理A
3限		健康教育学		キャリアデザインⅠ	
4限	柔道	バスケットボール	身体科学論		競技スポーツ論・実習Ⅰ バスケットボール
5限					競技スポーツ論・実習Ⅰ バスケットボール

■学校推薦型選抜 ■出身校：高知中央高等学校・高知県



専攻科目の系の選択

※1) 決められた条件の中で、1つの系以上を選択できるものとします。スポーツ総合課程では2つの系より選択できます。※2) 各系の必修科目を示しています。
(注) 選択した系以外で履修可能な他系を → で示しています。()内は単位数



武道課程の
目標

武道課程は、体育・健康づくりに関する科学的な基礎知識や応用能力を有し、我が国発祥の身体運動文化として伝承され、今日において競技文化としても広く認識されている武道、特に柔道・剣道における心と技を伝統的修練形式である稽古を通じて修得することにより、武道の精神と、国際社会の進展に対応できる実践的かつ創造的で、市民性を備えたリーダーの育成を目標とします。

専攻系の
紹介

武道系

武道における「こころ」と「わざ」を伝統的修練形式により学び、武道の実技指導を行うことのできる人材を養成するコース

在学生からのメッセージ

武道課程 4年

羽渕 泰造

HABUCHI Taizo

Q1：なぜ鹿屋体育大学に？

国内唯一の国立の体育大学であるという点、私が幼いころから通っている柔道の町道場の先生の出身大学である点、中・高の保健体育教員免許の取得ができる点、さらにハイレベルな選手の集まる柔道部で競技力を向上したいと思い、受験しました。

Q2：今頑張っていること、目標は？

勉強と課外活動の文武両道に励んでいます。柔道の大会でいい結果を残すことと保健体育教員に採用されることを目標にしています。

Q3：好きな授業はなんですか？

武道文化論です。柔道や剣道を始めた、武道の文化としての歴史や普及の仕方を学ぶことができます。また、いろいろな視点から武道を学ぶことができるため、武道の深い部分を楽しむことができます。

Q4：鹿屋体育大を目指す人に一言！

鹿屋体育大学は、勉強と課外活動の両立ができる最高の環境です。全国からさまざまな競技の学生が集まっているため、とても良い刺激がもらえます。自然豊かな環境で勉強にも励むことができるので、皆さん一緒に頑張りましょう！

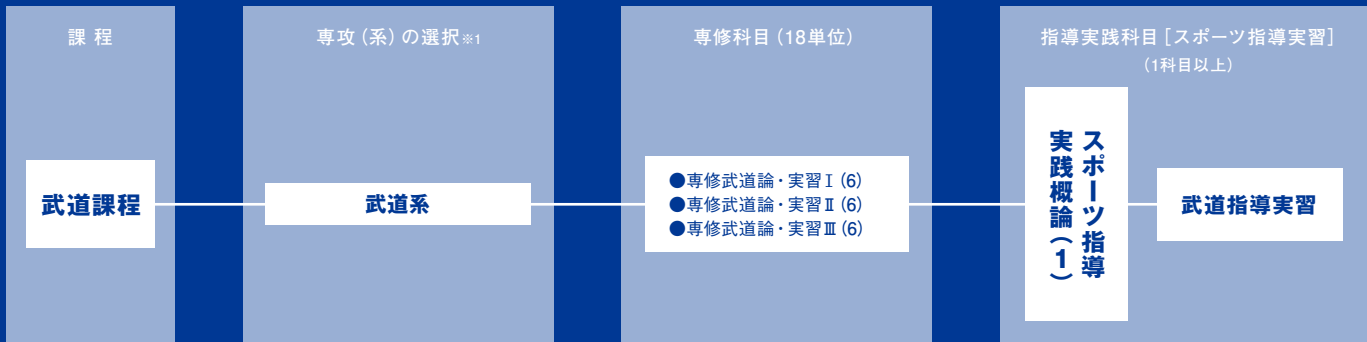
私の時間割＜2年前期＞

	月	火	水	木	金
1限		総合英語Ⅲ	保健体育科 教育法Ⅰ	武道史	
2限		スポーツ マネジメント 概論		運動生化学	
3限	テニス		教育法・ 教育行政		救急処置論・ 実習
4限	教育心理学				武道指導論・ 実習Ⅱ 柔道
5限					武道指導論・ 実習Ⅱ 柔道
学外実習・介護等体験					

■一般選抜 ■出身校：同朋高等学校・愛知県

専攻科目の系の選択

※1) 決められた条件の中で、1つの系以上を選択できるものとします。スポーツ総合課程では2つの系より選択できます。
(注) 選択した系以外で履修可能な他系を → で示しています。()内は単位数



在学生（編入学生）からのメッセージ

スポーツ総合課程 4年

山口 虎士

YAMAGUCHI Torao



Q1：なぜ鹿屋体育大に？

小さい頃からスポーツが大好きで、高校を卒業しスポーツ系の専門学校に進学しました。そこで社会の健康問題などの体育・スポーツが抱えるさまざまな問題を知り、その問題を少しでもスポーツを通して解決したいと思い鹿屋体育大学の編入試験を受験しました。

Q2：今頑張っていること、目標は？

現在、大学院進学を目標に日々勉強を頑張っています。また、本学が地域を巻き込んだイベントの企画や運営、広報スタッフとしての活動、同期の編入生と一緒に新たにバーベル部を設立し地域のイベントに参加するなど、授業以外の課外活動にも積極的に参加し頑張っています。

Q3：好きな授業はなんですか？

実技科目である海洋スポーツの授業が楽しく好きでした。海の近くに大学がある、鹿屋体育大学ならではの授業だと思います。普段、なかなか体験できないことを授業として専門的に学ぶことで、アウトドアスポーツやマリンスポーツに興味を持つことができました。

Q4：鹿屋体育大を目指す人に一言！

鹿屋体育大学は、豊かな自然に囲まれ、鹿屋でしかできないことがたくさんあります。

スポーツが好きな人、将来スポーツに関わる仕事がしたいと考えている人はぜひ、鹿屋体育大学に来て私たちと一緒に学びましょう。

私の時間割＜3年前期＞

	月	火	水	木	金
1限			保健体育科 教育法Ⅱ		運動生理学
2限	教育の方法と技術 教育とICT活用	スポーツ指導 実践概論	ダンス	日本国憲法	
3限			学校保健	教師論	衛生学・ 公衆衛生学
4限	柔道	生涯スポーツ論・ 演習Ⅰ 健康・体力	運動学概論		
5限			体育学実験Ⅰ		
集中講義：ゼミナールⅡ・健康教育学・生涯スポーツ学概論				学外実習：介護等体験	

■第3年次編入学

■出身校：福岡県立大牟田北高等学校／ヒューマンアカデミー福岡校



□ 体育学実験Ⅱ ーバイオメカニクスー

本授業は、地面反力計、3次元動作分析システム、および位置座標測定システムを使い、バイオメカニクスの視点から身体運動を考える科目です。機器の測定技術を習得するとともに、データの分析方法及び解釈について専門理論を学習し、学生が研究計画の立案および研究を行うための素養を身につけることを目指した授業です。

Pick up | 注目授業

□ 保健体育科教育法Ⅲ

4年次の教育実習に向けた実践力を身に付けるために、保健体育科の目標や内容、指導法、評価法等について理論と実践を往還しながら、単元構造化、学習指導案等を作成して模擬授業を行います。模擬授業の実施に当たっては、選択領域を「球技ゴール型・ネット型」、「体づくり運動・器械運動」、「体育理論・保健」の3つに分け、その中から各自で2領域を選択します。



ゼミナール Seminar

ゼミナールは、少人数の学生が指導教員の下で、お互いに質疑討論を交わし、学習成果を発表しながら専門研究領域における知識を深め、研究方法を履修していく授業形態です。3,4年次の必修科目で、各指導教員により実施されます。ここでは、数あるゼミの中から3つを紹介します。

スポーツ・武道実践科学系 成田 健造ゼミ | 深く考えられると見える世界が変わる！

私たちのゼミでは、特に「深く考えられるようになること」を目指しています。そのために、学生が自身の考えや思いを言語化し、それを表現し、仲間と話し合うことを大切にしています。ゼミでは主に「水泳」をテーマとし、時には仲間の文章に質問・指摘したり、実験を自分たちで考えて実践・分析したりしています。卒業研究では、学生が自身の興味に気付くことから始まり、それを約1年間かけて探求します。その過程ではもちろん悩んだり苦労したりもしますが、ゼミの方針である「やるならちゃんとやった方が良し、楽しい方が良し」を学生・教員の全員で実践しているのが私たちのゼミの特徴です。



池田 匡佑さん

IKEDA Kyosuke

■一般選抜

■出身校：鹿児島県立与論高等学校

競技者としてのみならずさまざまな視点から水泳を見たいと考え、成田ゼミを選びました。ゼミでは水泳に関するバイオメカニクスや生理学、心理学などの研究を通して論理的思考力や伝える力を養うことができます。またその中でも先生や学生同士が互いに尊重し合い、楽しい雰囲気の中で活動しており、水泳選手としても人間としても成長することができます。将来はゼミで培った力を生かし、地元与論島でスポーツの魅力を伝える人間になりたいと考えています。



スポーツ生命科学系 宮崎 輝光ゼミ | 競技力向上のための巧みな身体運動を探る



私たちのゼミでは、走・投・跳などのさまざまなスポーツ動作を三次元計測し、競技力の向上とけが予防に必要な身体運動を探求しています。所属するゼミ生は、ウィンドサーフィン、垂直跳び、400m走など、自身の興味・関心のある動作を対象とし、それぞれの研究計画を立案していきます。鹿屋体育大学には、スポーツ動作の分析に必要な広い実験場と豊富な実験機材が備わっています。これらを活用して、トップアスリートの巧みな身体運動の原因に迫ろうとしています。

岡 知里さん

OKA Chisato

■一般選抜

■出身校：北海道立札幌北陵高等学校

スポーツを「数字」で語るという魅力に惹かれて宮崎ゼミに入りました。現在は動作の獲得・改善に動画のフィードバックはどのような影響を与えているのかを研究しています。皆さんも競技力向上のために、動画を見てフォーム修正などをしたことがあると思います。「客観的に自分をみる」ことはどの程度有効であるのかを「数字」で評価します。そうすることで、将来、視覚障がい者が競技力向上するための方法を開発したいと考えています。



スポーツ人文・応用社会科学系 北村 尚浩ゼミ | 社会における体育・スポーツを俯瞰する力を

私たちのゼミでは、文献抄読や統計、体験を通して、社会における体育・スポーツについて、さまざまな視点から解き明かすことを目的とした活動を行っています。ゼミでは、自身の研究テーマに関連する文献を読んでまとめ、その概要を発表し、全員で意見交換などを行います。専門競技が異なる学生が集まっているため、自分とは違った視点での意見をもらえることが多く、新たな気付きを得ることができます。また、スポーツイベントの運営補助やスタジアムのフィールド調査など、机上では学ぶことができないことを体験を通して学ぶ機会もあり、自分の視野を広げることができる、活動的なゼミとなっています。



林 凜香さん

HAYASHI Rinka

■一般選抜

■出身校：佐賀県立唐津東高等学校

運動部活動の地域移行問題に興味があり北村ゼミを選択しました。文献抄読や意見交換を通して、地域移行だけでなく、体育・スポーツをとりまくさまざまな社会問題についての知識を獲得することができています。今後は、運動部活動の地域移行の取り組みから、自身の専門競技で日本の伝統文化でもある剣道の町道場が衰退している現状に歯止めをかける方策について調査研究を通して、考察・提案をし、剣道競技の発展につなげたいと考えています。

